

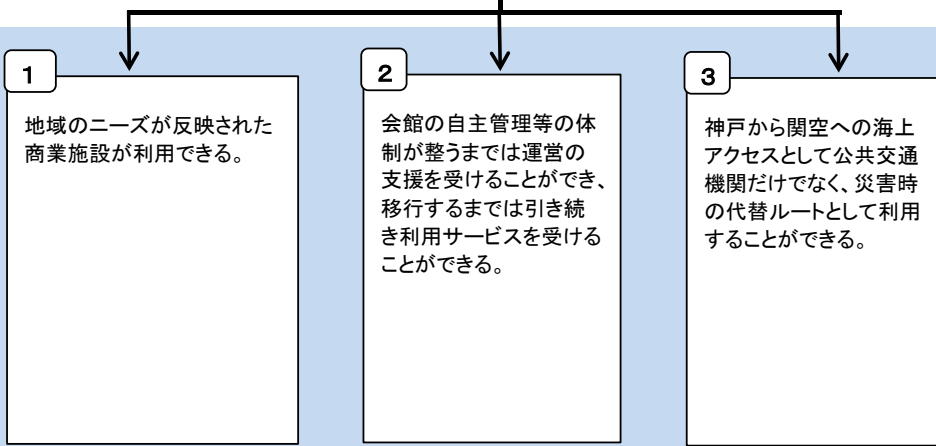
○基本情報

		記載日	平成28年2月15日
団体名	株式会社OMこうべ	所管局名	みなと総局
設立目的	市民に便利で潤いのある暮らしを提案するとともに、多様なニーズに応じたビジネス空間の提供と、安全で快適な海上運送を通じて、地域社会に貢献し続ける企業を目指す。		

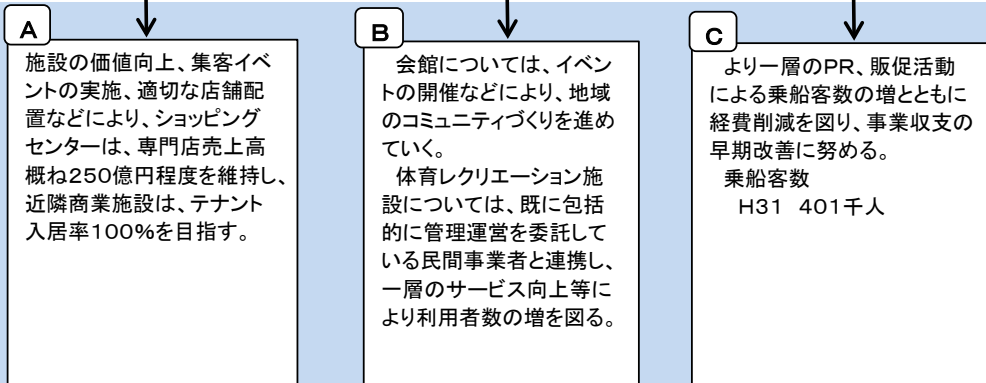
M
市が団体に求めるミッション
Mission

長期	神戸市が開発してきた団地について、商業施設の整備運営、地域における会館・集会所等の公益施設や体育レクリエーション施設の管理運営、海上アクセス航路の運航を行うことにより、住民の利便と福祉の向上・産業経済の発展に寄与する。
5年	<p>1・・・商業施設の整備運営 市の地域活性化やオールタウン対策とも連携しつつ、民間業者のノウハウを取り入れながら、入居率の維持・向上に努め、顧客満足度の更なる向上を図ること。</p> <p>2・・・会館運営事業・体育レクリエーション施設運営事業 事業や施設運営のあり方を市とともに検討し、一部の会館については地域による自主管理を支援していくこと。</p> <p>3・・・海上アクセス事業 経営統合によって関西国際空港－神戸空港間の海上アクセス航路を維持し、より一層の旅客利便性やサービス向上を行う。</p>
<p>【2020ビジョン及び部門別計画等との関わり】 計画的開発団地(ニュータウン)のリノベーション (近隣センターにおける商業施設の整備)</p>	

V
市民に提供する価値
Value



T
事業目標
Target



平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月27日
団体名	株式会社OMこうべ	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	1-A	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:1・2)
H29事業目標	ショッピングセンターは、前年度からの売り上げ低下傾向が続いているが、魅力あるショッピングセンターづくりに取り組み売り上げの確保を目指す(251億円程度)。また、近隣商業施設は、空き店舗の早期解消を目指す(入居率99.0%程度)。		
H29実績評価	ショッピングセンターにおいては、根強い節約志向や近隣競合店の影響が続く中、イベントやキャンペーン等の販売促進活動や、トイレ洋式化等のアメニティの向上等に取り組み、売上高の維持に努めた。 近隣商業施設においては、リニューアル事業により空き店舗への誘致を休止している施設を除くと目標をクリアしており、住民の利便性の確保に努めた。		評価
	ショッピングセンター専門店売上高 245億円 近隣商業施設 テナント入居率(全体) 98.1% " (リニューアル施設を除く) 99.0%		S A B C
H30事業目標	ショッピングセンターは、売り上げ低下傾向が続いているが、魅力あるショッピングセンターづくりに取り組み売り上げの確保を目指す(245億円程度)。また、近隣商業施設は、空き店舗の早期解消を目指す(入居率99.0%程度)。		
評価担当者	総務部長 筑田 正浩		

事業No.	2-B	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:4・5)
H29事業目標	渦森会館の建替えに伴い、文化教室等の減も予想されるが、引き続き地域コミュニティづくりに寄与する会館運営を目指す(利用件数10,800件程度)。また、体育レクリエーション施設とあわせて、住民ニーズに対応できるよう更なるサービス向上に努める(利用件数92,800件程度)。		
H29実績評価	会館については、文化教室のチラシの新聞折込による配布等各種PRに努めた他、展示や発表会等の催し物の開催等生涯学習の場としての会館運営に努めた結果、目標をクリアできた。 体育レクリエーション施設(テニス場)については、一部でトレーニング教室の開催や高齢者割引等を引き続き実施した他、人工芝の張替等の施設整備により、サービスの向上に努めた。 以上の取り組みにより、住民の利用ニーズに対応することができた。		評価
	会館 利用件数 10,874件 体育レクリエーション施設(テニス場) 利用件数 91,835件		S A B C
H30事業目標	渦森会館の建替えに伴い、文化教室等が減となるが、引き続き地域コミュニティづくりに寄与する会館運営を目指す(利用件数10,200件程度)。また、体育レクリエーション施設とあわせて、住民ニーズに対応できるよう更なるサービス向上に努める(利用件数91,700件程度)。		
評価担当者	総務部長 筑田 正浩		

平成29年度 ミッションの達成評価シート1 [1次評価]

		記載日	平成30年8月27日
団体名	株式会社OMこうべ	所管局名	みなと総局

○団体による自己評価[1次評価]

事業No.	3-C	主要事業(様式1-3)との関わり	あり(事業番号:3)
H29事業目標	外国人個人客や日本人利用者の利用促進に努め、事業収支の黒字継続を目指す。 (海上アクセス(ベイ・シャトル) 乗船客数 350千人)		
H29実績評価	海上アクセス(ベイ・シャトル)については、乗船客数は減少したものの、経費削減等により、黒字継続できた。 海上アクセス(ベイ・シャトル) 乗船客数 329,262人		評価
			S A B C
H30事業目標	外国人個人客や日本人利用者の利用促進に努め、事業収支の黒字継続を目指す。 (海上アクセス(ベイ・シャトル) 乗船客数 355千人)		
評価担当者	総務部長 筑田 正浩		

平成29年度 ミッションの達成評価シート2 [2次評価]

		記載日	平成30年8月30日
団体名	株式会社OMこうべ	所管局名	みなと総局

○所管局による総合評価(ミッションの達成評価)[2次評価]

コメント	<p>【ミッション毎の評価】</p> <p>1. 商業施設の整備運営……評価A (上記評価の理由) 売上高については、根強い節約志向や近隣競合店の影響が続く中、ほぼ目標値を達成している。 また、テナント入居率についてもリニューアル事業により空き店舗への誘致を休止している施設を除けば、目標を達成しており、住民の利便性の確保につとめたと評価できる。</p> <p>2. 会館運営事業・体育レクリエーション施設運営事業……評価A (上記評価の理由) 会館、体育レクリエーション施設においては様々な取り組みを行い、サービス向上に努めるとともに、利用件数についてもほぼ目標値を達成しており、住民の利用ニーズに十分対応したと評価できる。</p> <p>3. 海上アクセス事業……評価A (上記評価の理由) 乗船人数については減少したものの、第一の目標である事業収支の黒字継続は達成したため。</p> <p>【総合評価の理由】 上記のとおり、目標を達成したため。</p>	総合評価
		<p>S</p> <p>A</p> <p>B</p> <p>C</p>
対応方法 (総合評価がB又はCの場合は必ず記載)	/	
評価担当者	みなと総局総務課長 和泉 智久	